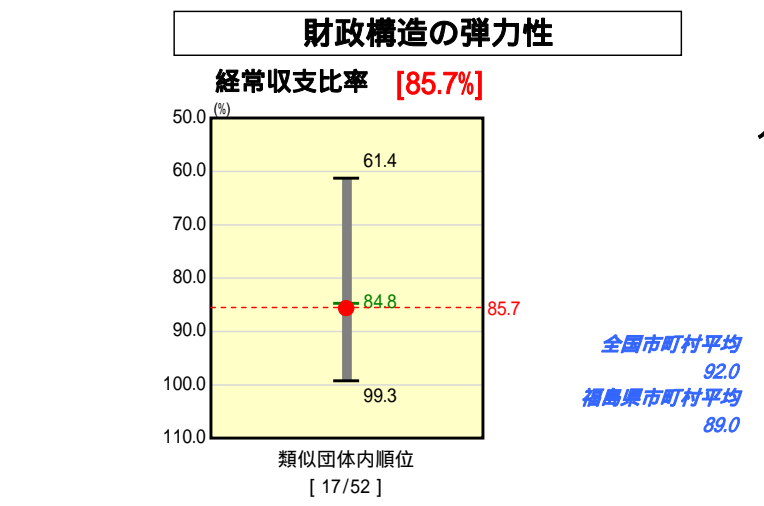
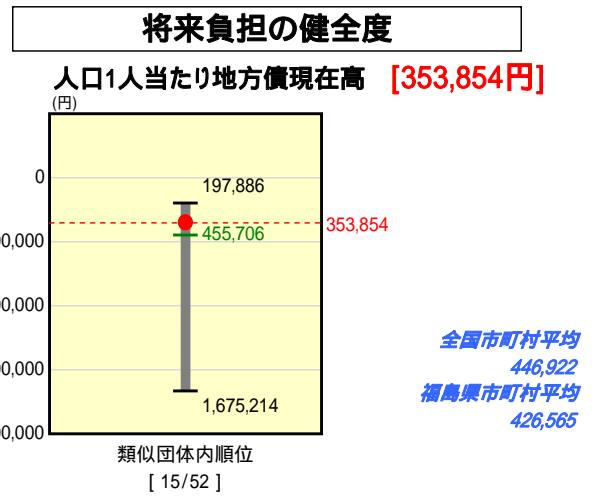
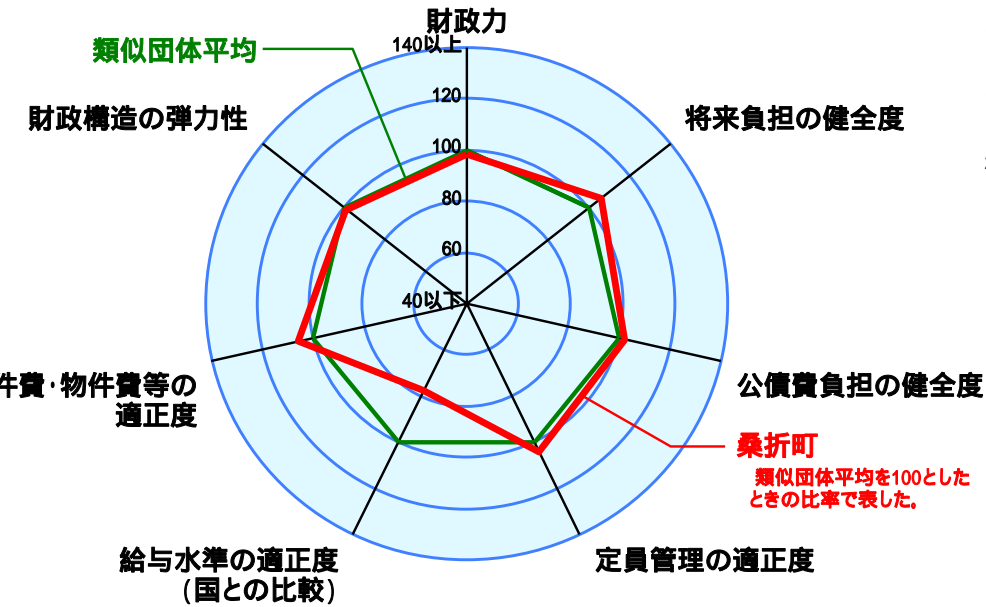
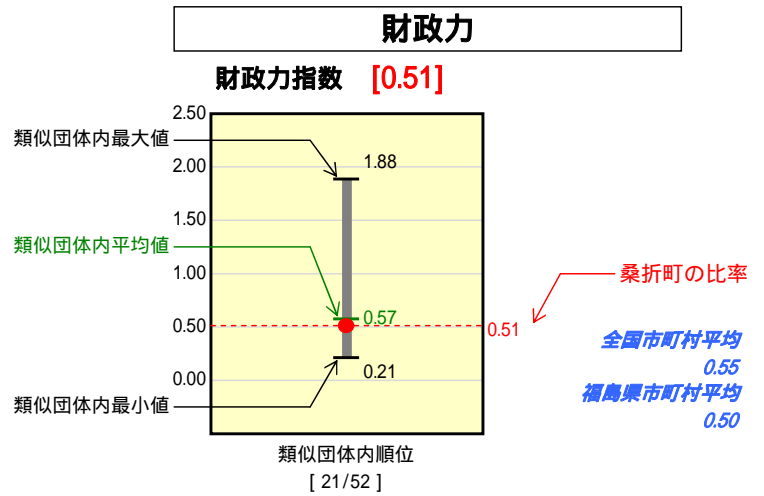


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 桑折町

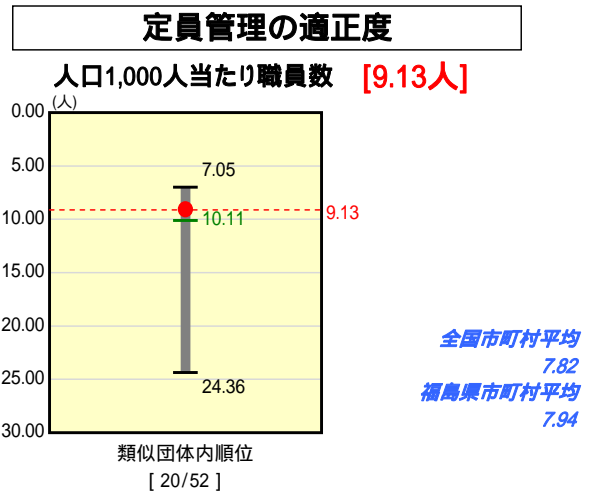
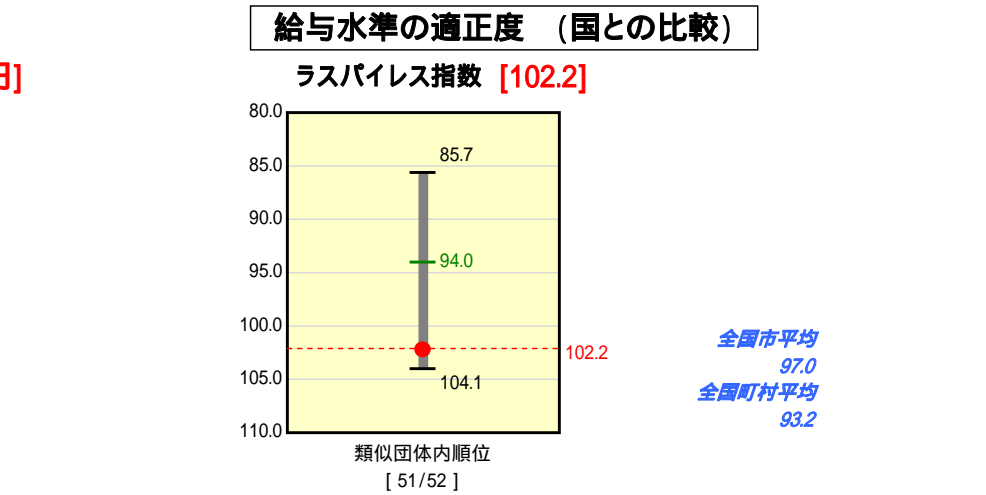
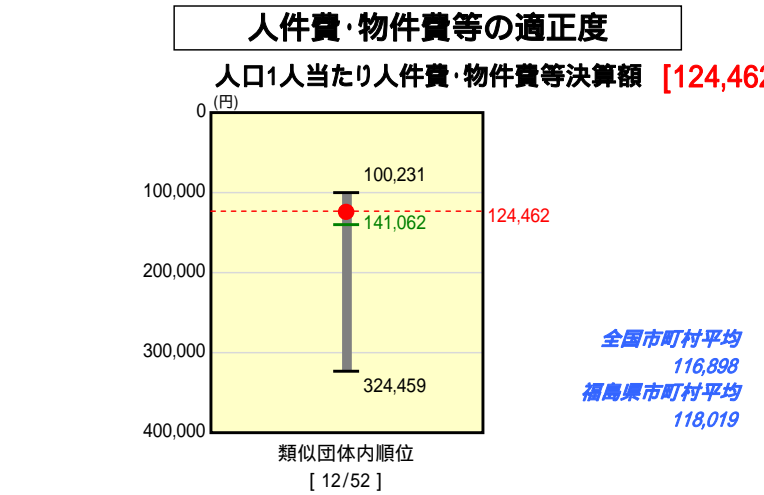
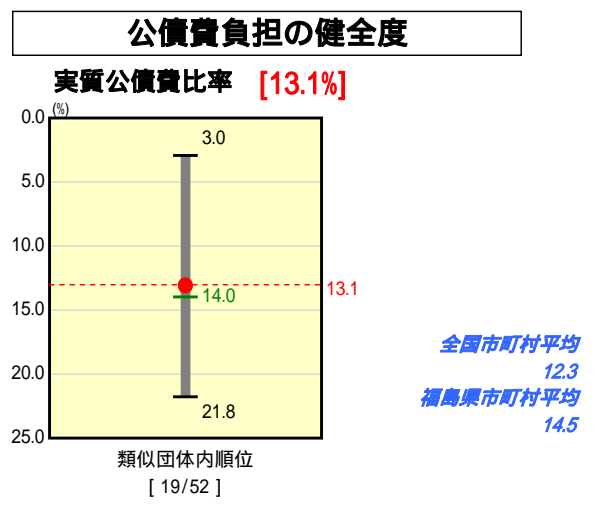
人口	13,469	人(H20.3.31現在)
面積	42.97	km ²
歳入総額	4,133,379	千円
歳出総額	3,933,754	千円
実質収支	190,292	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
平成19年度は、株式譲渡所得の増等の要因もあって税収等の基準財政収入額は、前年度に比較して増加したものの、臨時財政対策債をはじめ公債費の増加等もあり、結果として、0.51となり、類似団体平均を若干下回っている。引き続き「行政改革大綱」及び「集中改革プラン」に沿った行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る必要がある。

【経常収支比率】
平成19年度は、職員給与削減等による人件費抑制及び地方税や地方交付税の経常一般財源の増加により、類似団体平均を若干上回ったものの、前年度に比較して4.6ポイント縮減となった。引き続き、「行政改革大綱」及び「集中改革プラン」に基づき、経常経費の削減と、町税収納率の向上など一般財源の確保を図る必要がある。

【実質公債費比率】
平成19年度は、臨時財政対策債の償還をはじめ、前年度に比較して1.1ポイント増加したものの、類似団体平均より0.9ポイント下回っている。今後とも起債依存の高い大規模事業については、事業の整理・縮小を図り、緊急性・住民ニーズを把握しながら、起債に頼らない財政運営を目指す。

【人口1人当たりの地方債残高】
平成19年度は、類似団体平均を下回っており、今後も地方債発行を極力抑制しながら、地方債残高の低減に努める。

【ラスパイレス指数】
類似団体平均よりも8.2ポイント、全国町村平均よりも9.0ポイント上回っている。全国的にも高い水準にあるため、地域民間企業の給与状況を踏まえながら、今後とも給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たりの職員数】
類似団体平均を0.98ポイント下回っている。引き続き、「行政改革大綱」及び「集中改革プラン」に基づき、事務事業の整理・統廃合を進めながら定員適正化に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等】
職員給与削減等による人件費抑制、経常的経費削減の徹底により、類似団体平均を下回る結果となったが、引き続き、「行政改革大綱」及び「集中改革プラン」に基づき、さらなる財政構造の弾力化に努める。